令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者福祉施設整備補助			事業番号	011-133
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		有	取組の方向性	② 障害者の暮らしの場の確保				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10) 人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画、第1期堺市障害児福祉計画						
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会福祉施設等施設整備費国庫補助金交付要綱、堺市社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱、堺市障害者グループホーム整備促進事業補助金交付要綱、令和元年度障害者総合支援事業費補助金（新型コロナウイルス感染症対策に係る特別事業分）交付要綱、堺市新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業費補助金（障害者）交付要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	【施設整備補助】 グループホーム等を整備する社会福祉法人、NPO法人、営利法人等（市内約500法人） 【新型コロナウイルス感染症の対応】 堺市内の障害福祉サービス事業所（約1,600事業所）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	【施設整備補助】 グループホームの整備を促進することにより、障害者の地域生活への移行と生活基盤の確保を図るため、国庫補助による施設整備に併せて、整備加算や初度設備に対し補助を行う。また、既存施設において大規模修繕を進めることにより、施設利用者の安全の確保を図る。 【新型コロナウイルス感染症の対応】 新型コロナウイルス感染拡大防止として、堺市内の障害福祉サービス事業所に対し、マスクや手指消毒用エタノール等を配付する費用や障害者支援施設等に対して簡易陰圧装置の設置に要する費用等を補助する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	① 社会福祉施設等施設整備費補助金【国庫補助】(補助率：国1/2、市1/4) ・グループホーム創設 2件 ・スプリンクラー整備 2件 ・換気設備 1件 ② 障害者グループホーム整備促進事業補助金【市単独補助】 ・施設整備（国庫整備に併せて加算、補助率 10/10） 2件 ・初度設備整備（補助率 3/4） 10件 ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費補助金【国庫補助】(補助率：国10/10) ・衛生用品等 11件 ・テレワークのシステム導入 18件 ・簡易陰圧装置 2件 ・就労継続支援事業所における生産活動活性化支援 15件
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	重度障害者を受け入れるグループホームの整備を促進するため、グループホームの創設事業として、国庫補助金の交付決定を受けた社会福祉法人等に対して、スプリンクラー設備等に係る経費を補助（補助率10/10） ① スプリンクラー設備及び非常用自家発電設備を設置する場合 12,000千円（上限） ② スプリンクラー設備を設置する場合 5,000千円（上限）
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	社会福祉法人 こころの窓、堺市内の障害福祉サービス事業所 等
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度 令和7年度
11 補助金交付により、新たに増加したグループホームの定員数	人	目標値	—	—	—	—
		実績値	91	50		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		グループホームの利用者の増加を目的とする事業であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定は行わない。				
12 活動指標(成果を上げるための手段) グループホームの創設として、補助金を交付した件数(初度設備含む)	件	目標値	—	—	—	
		実績値	18	12		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		グループホームの利用者の増加を目的とする事業であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定は行わない。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者福祉施設整備補助	事業番号	011-133
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	76,023	89,114	157,516	115,796	112,624
財源内訳	国支出金	35,038	37,581	93,697	81,674	62,253
	府支出金				19	
	市債	21,700	22,700	52,500	25,100	38,400
	その他 (基金繰入金)		631			
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	19,285	28,202	11,319	9,003	11,971
14	人件費 (b)	4,100	4,050	4,100	4,100	4,100
15	年間経費(c)=(a)+(b)	80,123	93,164	161,616	119,896	116,724

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	障害者福祉施設整備補助金 (国庫財源を伴う補助金)	R2	決算	55,707	3,870	【コロナ対応】テレワーク導入支援事業補助金	R2	決算	9,009	0
		R3	予算	93,380	6,327		R3	予算	0	0
	障害者福祉施設整備補助金 (市単独の補助金)	R2	決算	14,925	4,525	【コロナ対応】簡易陰圧装置設置補助金	R2	決算	2,568	0
		R3	予算	19,244	5,644		R3	予算	0	0
	【コロナ対応】感染拡大防止研修・マニュアル作成	R2	決算	594	594	【コロナ対応】事務経費	R2	決算	203	0
		R3	予算	0	0		R3	予算	0	0
	【コロナ対応】衛生用品の配付	R2	決算	22,484	14		R2	決算		
		R3	予算	0	0		R3	予算		
	【コロナ対応】就労系サービス機能強化事業補助金	R2	決算	10,306	0		R2	決算		
		R3	予算	0	0		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		① 整備したグループホームの定員数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	93,164	119,896
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,023,780	2,397,920
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 単位当たり経費の基礎となる決算額については、補助事業の内容（創設、大規模修繕、初度設備等）や件数により、毎年変動することから、単位当たり経費も毎年増減しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止として、マスク等の衛生用品を配付する経費を補正予算で対応したこともあり、決算額が前年度から大きく増えている。

単位当たり経費については、重度障害者を受け入れるグループホームの整備が進むよう、市単独での補助を行っているが、これまでも市の負担を軽減するために補助基準額や補助率の見直しを行っており、妥当であると考えます。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 本事業は、障害者の高齢化・重度化や家族など介護者の高齢化が進む中、グループホームの整備を促進することにより、障害者の地域生活への移行と生活基盤の確保を図るため、国庫補助による施設整備に併せて、整備加算や初度設備に対して補助を行っている。

また、既存施設において外部給電設備及び蓄電設備やスプリンクラー整備等の大規模修繕を進めることにより、施設利用者の安全の確保を図っており、障害者の暮らしの場の確保に寄与している。